



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 ディービーエックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3079 URL https://www.dvx.jp
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 柴崎 浩
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員（氏名） 諏訪 聡志 (TEL) 03-6899-3975
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	27,634	—	76	—	81	—	38	—
2025年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 38百万円(—%) 2025年3月期中間期 一百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	3.65	—
2025年3月期中間期	—	—

(注) 2026年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	24,726	8,667	35.1
2025年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 8,667百万円 2025年3月期 一百万円

(注) 2026年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,956	—	581	—	581	—	395	—	37.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 総合医療サービス株式会社、除外 1社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	10,780,000株	2025年3月期	10,780,000株
2026年3月期中間期	279,044株	2025年3月期	307,944株
2026年3月期中間期	10,477,899株	2025年3月期中間期	10,452,520株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析を行っておりません。

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、日経平均株価は史上最高値を更新したこともあり、堅調に推移しました。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、わが国の経済を下押しする要因となっています。

医療業界におきましては、帝国データバンクから発表された医療機関の倒産動向調査によりますと、2025年1月から2025年6月の期間で35件の倒産と過去最多のペースで推移していると公表がなされました。医療機関の倒産が急増している背景に収益性の悪化が大きな要因になっています。医療機器の価格、人件費、入院患者の給食費、光熱費などが高騰する一方、診療報酬はそれらの上昇分をまかなうにはほど遠いレベルで推移しているのが現状であります。また、建物の老朽化がクローズアップされております。病院建物の法定耐用年数は39年とされていますが、同年数を超えても、建設費高騰や資金難で新施設の建設ができずに事業存続危機に陥る施設が相次ぐのではないかと懸念されており、医療業界を取り巻く事業環境はより一層、厳しい状況となっています。

このような情勢のもと、当社では、持続可能な医療環境の整備の一翼を担うべく、医療機器のニーズを捉えた最適な商品やサービスの提案に努め、医療の安全、安心のために安定して商品を生供給し続けることを使命とし企業活動を行ってまいりました。

不整脈事業及び虚血事業が好調に推移した一方、人件費の増加や戦略的な経費支出を積極的に行ったことから、当中間連結会計期間の売上高は27,634,511千円、営業利益は76,031千円、経常利益は81,867千円、親会社株主に帰属する中間純利益は38,221千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

主に、PFアブレーション用カテーテルの販売が好調だったことから、当中間連結会計期間の売上高は22,701,948千円、セグメント利益は2,019,572千円となりました。

② 虚血事業

主に、経皮的冠動脈形成術用穿刺部止血材料及びバルーンカテーテルの販売が好調だったことから、当中間連結会計期間の売上高は1,908,774千円、セグメント利益は211,479千円となりました。

③ その他

TAVIなどのストラクチャー関連及び頭部・腹部領域の商品などの販売が好調だったことから、当中間連結会計期間の売上高は3,023,788千円、セグメント利益は367,461千円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、24,726,201千円となりました。主な内訳は現金及び預金が5,360,020千円、受取手形、売掛金及び契約資産が11,689,537千円、電子記録債権が1,840,672千円、商品が2,735,317千円であります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、16,058,424千円となりました。主な内訳は買掛金が14,478,800千円であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、8,667,777千円となりました。主な内訳は、利益剰余金が8,290,307千円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の支出599,532千円、投資活動による資金の支出620,132千円、財務活動による資金の支出570,622千円等により、5,360,020千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前中間純利益81,679千円に加え、減価償却費の計上336,168千円、その他の増加337,966千円等の増加要因があった一方、売上債権の増加557,331千円、仕入債務の減少607,195千円等の減少要因があったことから、599,532千円の資金の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出285,608千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出321,880千円等の減少要因があったことから620,132千円の資金の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額522,323千円等の減少要因があったことから、570,622千円の資金の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2025年10月30日公表の「2026年3月期第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2026年3月期中間連結業績予想の修正を行いました。通期の連結業績予想につきましては、今後の業績動向を現在精査中のため、2025年5月15日公表の予想値を据え置きとしております。修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	5,360,020
受取手形、売掛金及び契約資産	11,689,537
電子記録債権	1,840,672
商品	2,735,317
その他	388,400
貸倒引当金	△815
流動資産合計	22,013,132
固定資産	
有形固定資産	1,220,848
無形固定資産	
のれん	275,705
その他	47,007
無形固定資産合計	322,712
投資その他の資産	
投資有価証券	337,743
破産更生債権等	4,948
差入保証金	291,868
繰延税金資産	523,259
その他	15,403
貸倒引当金	△3,716
投資その他の資産合計	1,169,507
固定資産合計	2,713,069
資産合計	24,726,201

(単位：千円)

当中間連結会計期間
(2025年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	14,478,800
電子記録債務	85,896
1年内返済予定の長期借入金	17,897
未払法人税等	106,496
賞与引当金	317,729
その他	418,254
流動負債合計	15,425,075
固定負債	
長期借入金	9,282
退職給付に係る負債	523,620
その他	100,446
固定負債合計	633,348
負債合計	16,058,424
純資産の部	
株主資本	
資本金	344,457
資本剰余金	314,730
利益剰余金	8,290,307
自己株式	△293,930
株主資本合計	8,655,564
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	13,624
退職給付に係る調整累計額	△1,412
その他の包括利益累計額合計	12,212
純資産合計	8,667,777
負債純資産合計	24,726,201

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	27,634,511
売上原価	25,035,997
売上総利益	2,598,513
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入額	3,477
給料及び手当	845,549
賞与引当金繰入額	314,620
退職給付費用	45,983
その他	1,312,851
販売費及び一般管理費合計	2,522,481
営業利益	76,031
営業外収益	
受取利息	1,728
受取配当金	4,352
その他	2,630
営業外収益合計	8,711
営業外費用	
支払利息	592
投資事業組合運用損	1,018
為替差損	1,264
営業外費用合計	2,876
経常利益	81,867
特別利益	
固定資産売却益	706
特別利益合計	706
特別損失	
固定資産除却損	894
特別損失合計	894
税金等調整前中間純利益	81,679
法人税、住民税及び事業税	91,126
法人税等調整額	△47,668
法人税等合計	43,458
中間純利益	38,221
親会社株主に帰属する中間純利益	38,221

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	38,221
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△43
退職給付に係る調整額	757
その他の包括利益合計	713
中間包括利益	38,934
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	38,934
非支配株主に係る中間包括利益	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	81,679
減価償却費	336,168
のれん償却額	21,208
株式報酬費用	16,552
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,815
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	22,463
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,540
受取利息及び受取配当金	△6,080
支払利息	592
為替差損益(△は益)	788
有形固定資産売却損益(△は益)	△706
固定資産除却損	894
投資事業組合運用損益(△は益)	1,018
売上債権の増減額(△は増加)	△557,331
棚卸資産の増減額(△は増加)	△238,283
仕入債務の増減額(△は減少)	△607,195
未払消費税等の増減額(△は減少)	86,846
その他	337,966
小計	△497,061
利息及び配当金の受取額	6,095
利息の支払額	△592
法人税等の支払額	△107,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	△599,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△285,608
有形固定資産の売却による収入	706
無形固定資産の取得による支出	△32,553
投資有価証券の取得による支出	△14,952
差入保証金の差入による支出	△4,576
差入保証金の回収による収入	44,841
資産除去債務の履行による支出	△6,109
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△321,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△620,132

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△46,767
配当金の支払額	△522,323
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△570,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	△788
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,791,075
現金及び現金同等物の期首残高	7,151,095
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,360,020

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計 (注) 2
	不整脈事業	虚血事業	計		
売上高					
ペースメーカー	1,953,561	—	1,953,561	—	1,953,561
植込型除細動器	1,234,129	—	1,234,129	—	1,234,129
両心室ペーシング機能付き植込型除細動器	866,337	—	866,337	—	866,337
電気生理検査用カテーテル	5,879,190	—	5,879,190	—	5,879,190
心腔内超音波プローブ	2,524,646	—	2,524,646	—	2,524,646
熱アブレーション用カテーテル(機能付き)	2,451,241	—	2,451,241	—	2,451,241
熱アブレーション用カテーテル	43,964	—	43,964	—	43,964
冷凍アブレーション用カテーテル	228,829	—	228,829	—	228,829
PFアブレーション用カテーテル	3,430,042	—	3,430,042	—	3,430,042
エキシマレーザー	—	44,319	44,319	—	44,319
その他	3,767,601	1,853,522	5,621,124	3,023,788	8,644,912
顧客との契約から生じる収益	22,379,545	1,897,842	24,277,387	3,023,788	27,301,176
その他の収益	322,403	10,932	333,335	—	333,335
外部顧客への売上高	22,701,948	1,908,774	24,610,722	3,023,788	27,634,511
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,701,948	1,908,774	24,610,722	3,023,788	27,634,511
セグメント利益	2,019,572	211,479	2,231,052	367,461	2,598,513

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、脳外科事業及び消化器事業、子会社の臨床検査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は中間連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間に総合医療サービス株式会社の全株式の取得を行い子会社化したことから、その他に含まれている臨床検査事業において、新たにのれんが296,913千円発生しました。

なお、当該のれんの金額は、当中間連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。